

# 草加市倫理法人会(12月) モーニングセミナー報告

自分が変わる。  
会社が良くなる。  
不況に負けない。

## 十二月三日(木) 第九一九回

◇ 講師 岡庭 武利 (一社) 倫理研究所 法人アドバイザー  
(株) オカワマネージメントサービス 代表取締役

◇ テーマ 「繁栄の法則〜利他の精神の実践〜」 代表取締役



経営者が持つべき志、使命感、そして今はすべての職業がお客様から選ばれる時代です。儲かるからやるとか儲からないからやらないではなく、お客様に喜んでもらう、満足してもらう、感謝してもらおう会社を社長は先頭になって社員と共に築き上げなければ今の時代は生き残れない。利他の精神とは他人のために尽くすという事です。社長は社員のために尽くすという事です。経営者の条件とは苦悩から逃げず、真正面から立ち向かう能力、すなわち先見力、対応力、決断力であり、経営者の徳とは、社員の話しを聞く謙虚さがなければなりません。



吉岡 明夫 記

## 十二月十日(木) 第九三〇回

◇ 講師 中川 律子 (有) 埼玉県倫理法人会 女性委員長  
(有) あきたベターライフ 代表取締役

◇ テーマ 「純粹(すなお)な心で」



今日は当初のテーマを変更させて頂き、普及についてお話しします。当時、飯能市倫理法人会に出席したら、会場には誰も集まっていなくて開始間際になって幾人かが来るという状況でした。そんな中、何もわからずいきなり事務長になりました。その後、会長をやって貰えないかと依頼があり、会長経験者で地元の有力量者A氏から、何でも協力するから是非と言われ会長職を受けました。一生懸命にやっても会員が集まらないし、普及に行っても何の成果も協力もないし、涙する辛い日々でした。A氏に実情を話したところ、私が今までやってきた姿をみていてくれアドバイスや協力を頂き、徐々に会員が増え当初の倍数に増えました。A氏の心の温かさを凄く感じました。人との出会いは心の温かさの出会いだと感じました。

坪井 明 記

## 十二月十七日(木) 第九三一回

◇ 講師 花野井 勝浩 (一社) 倫理研究所 法人アドバイザー  
(株) ハナノイ 代表取締役

◇ テーマ 「新世の発見」



純粹倫理とは、一言で言うと「宗教でも主義でもない。実行によって直ちに正しさが証明できる生活の法則(すじみち)である。」そして、すなおな心になるために我々は七ヶ条を読んでいます。すなおな心とはふんわりと柔らかく張り切った気持ちになります。すると物事が正しく見え、人も物も集まり、生きる力がわき、自分を超えていた力(見えない力が協力してくれる、大宇宙、大自然)が備わってきます。明朗、愛和、喜働は七ヶ条に散りばめられているので、七ヶ条を覚える前に、この明朗、愛和、喜働を実践して下さい。明朗とは明るい事。大きな声で積極的に気づいたらすぐする、そうすれば同類親和の理論で、社長が明るければ明るい社員が集まります。愛和とは仲がいい事、他人のいい所を探していくことです。喜働とは給料のために働く事ではなく、働くこと自体に喜びを感じる事です。



吉岡 明夫 記

## 十二月二十四日(木) 第九三二回

◇ 講師 岡田 明久 (株) 岡田運輸 取締役 会長  
(株) 岡田運輸 取締役 会長

◇ テーマ 「倫理に通じる偉人の話し」



今日はクリスマススイヴ、クリスマスは人々に愛を届ける日。今日は三偉人の演説の話です。先ずは米国ルーサーキング牧師。人種差別が続く中、ある黒人の夫人がバスで白人に席を譲らなかつた事が発端で米国中が大きな騒動となった。彼の有名な演説がある。「私には夢がある。肌の色ではなく人格によって人を評価する社会が来る事を。」ネルソンマンデラ南アフリカ大統領は長く続いた白人と黒人の隔離政策を廃止。「恨みで解決するより人を愛することを覚えよ」と国民に訴えた。パキスタン人のマララ・ユスフザイさん。彼女は中学校から帰宅中にタリバン兵の銃弾を受け瀕死の重傷を負った。女性には教育要らない、とする犯行。「なぜ戦車を作る事は簡単でも学校を作る事は難しいのか?」正しいことを勇敢に行う勇氣は称賛に値する。

坪井 明 記